

スモールコンセッションの推進方策に関する検討会

# 本検討会の目的と進め方

---

国土交通省総合政策局社会資本整備政策課

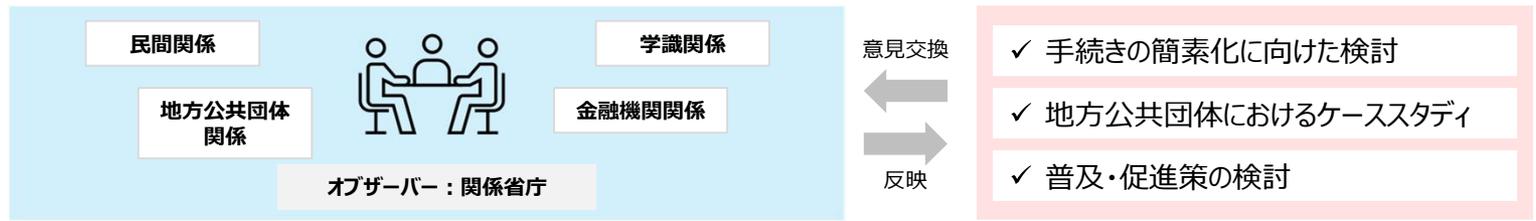
■ 本検討会の設置趣旨	.....	1
■ 今年度の目的とゴール、来年度の取組	.....	2
■ 本検討会の進め方と検討事項（予定）	.....	3
■ 本日の議題	.....	4

- 人口減少や少子高齢化等により、全国各地において多くの遊休公的不動産が存在し、今後更に増加することが予想されている。また、地方公共団体によっては、市民から古民家等の寄付を受けて、新たに遊休不動産を取得するケースもある。今後、財政や人的資源が厳しさを増していく中で、これらの遊休不動産を活用して、官民連携で事業を行い、地域課題の解決につなげていくことは有効である一方、多くの地方公共団体においては、様々な課題により、遊休不動産の利活用が十分に進んでいない。
- このような状況のなか、「PPP/PFI推進アクションプラン（令和5年改定版）」（令和5年6月2日民間資金等活用事業推進会議決定）において、地方公共団体が取得・所有した空き家・遊休公的不動産等の比較的小規模な既存ストックについて、事業運営は公共施設等運営事業等により民間事業者任せ、官民連携で地域活性化につなげるPPP/PFI事業（スモールコンセッション）が、今後開拓すべき新たな分野の1つとして位置づけられた。
- 上記を踏まえ、スモールコンセッションを全国的に普及・促進させることを目的として、官民連携等の分野の有識者や実務者からなる検討会を立ち上げ、スモールコンセッションの機運醸成や取り組みやすい環境整備等の推進方策について、幅広く議論し、検討する。

# 今年度の目的とゴール、来年度の取組

## 【令和5年度】スモールコンセッション推進方策に関する検討会

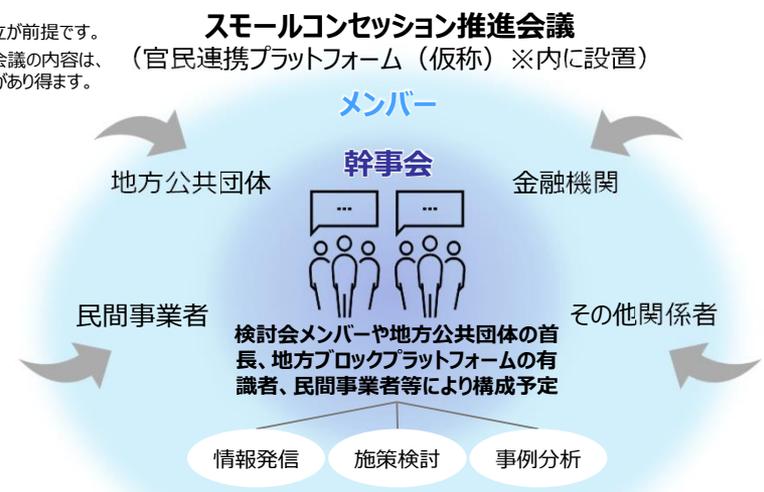
- 設置目的** スモールコンセッションを全国的に普及・促進することを目的として、官民連携等に知見を持つ有識者や実務者からなる検討会を立ち上げ、機運醸成や取組みやすい環境整備等の推進方策について、幅広く議論し、検討する。
- 委員** 地方公共団体関係（2名）、民間関係（2名）、学識関係（1名）、金融機関関係（1名）
- 主な検討内容**
- スモールコンセッションの推進に向けた課題の抽出・解決策の検討
  - ケーススタディ、手続きの簡素化等についての意見交換
- ゴール**
- スモールコンセッションの推進方策のとりまとめ



## 【令和6年度】スモールコンセッション推進会議（仮称）

- 設置目的** 官民の多様な主体の参加及び連携により、スモールコンセッションを全国的に普及・促進し、地域課題の解決やエリアの価値向上につなげることを目的とする。
- メンバー** スモールコンセッションの取組に賛同する地方公共団体、民間事業者、金融機関、有識者等
- 幹事会** 中心となって活動する地方公共団体の首長、地方ブロックプラットフォームの有識者、民間事業者等により構成
- 主な活動内容**
- 情報発信、セミナー等のイベント実施
  - 事例収集、ポイントの整理
  - 実施上の課題把握・施策検討

※予算の成立が前提です。  
※具体的な会議の内容は、今後変更があり得ます。



メンバーへの事例の情報発信、イベント開催 等  
※地方ブロックプラットフォームとスモールコンセッション推進会議により構成されるプラットフォーム。

# 本検討会の進め方と検討事項(予定)

## 第1回

日時：令和5年11月14日

検討事項：

- ✓ スモールコンセッションのコンセプト、目的の共有認識化
  - ・コンセプト、目的、関連事例の説明等
- ✓ 本検討会の目的・進め方の確認
  - ・本検討会の位置づけの確認
  - ・本年度の到達点の確認
- ✓ 小規模公的不動産の利活用が進まない課題等の洗い出し
  - ・課題等に対する意見交換

## 第2回

日時：令和6年1月中下旬

検討事項：

- ✓ ケーススタディ自治体の状況報告
  - ・当該自治体における検討状況や抱える課題についての報告、意見交換
- ✓ 小規模公的不動産の利活用が進まない課題・解決策の整理
  - ・事務局にてまとめた課題・解決策案について意見交換
  - ・推進方策（骨子）の提示と意見交換
- ✓ その他各検討の活動進捗報告
  - ・手続きの簡素化等の各検討に関する報告と意見交換

## 第3回

日時：令和6年3月中下旬

検討事項：

- ✓ 今後の推進方策のとりまとめ
  - ・課題に対する施策をとりまとめた推進方策案への意見交換、とりまとめ
- ✓ 成果物報告
  - ・手続きの簡素化、ケーススタディ、普及・促進策に関する検討成果の報告
- ✓ 来年度の取組み内容の説明
  - ・推進会議の進め方、位置づけ
  - ・スモールコンセッション推進会議への参加依頼

令和6年度以降

スモールコンセッション推進会議（仮称）を設立

セミナー等のイベント実施や推進を促進する機能として活動予定

## ● 遊休公的不動産の利活用を進めるにあたって考えられる課題とは？

- 例) ・事業規模に対して手続きが煩雑
- ・遊休公的不動産の情報が公開されていない
  - ・どのように利活用すれば良いか分からない
  - ・地方公共団体において、官民連携に精通する人材が少ない
  - ・スモールコンセッションとは何か周知できていない

## ● スモールコンセッションを普及させるためには、どうすれば良いか？

- 例) ・スモールコンセッションの取組について、協力者を巻き込みながら広く情報発信
- ・分かりやすいコンセプトやネーミングの提示
  - ・ノウハウがない地方公共団体でも取り組める手続きの簡略化、マニュアル化
  - ・遊休公的不動産の効果的な情報公開と民間事業者との適切なマッチング

## ● スモールコンセッションを推進していくための気を付けること、留意点とは？

- 例) ・官民双方からの課題・意見を受け、取組に反映させる
- ・官民の考え方や慣習が異なることに留意する